

Un Jour

アンジュール

「アンジュール」は仏語で「ある日」の意味です

特集

女性の視点の防災ノート そのときは突然やってくる

今回の特集は「女性の視点の防災ノート」です。
あなたは、災害の被害にあったことがないからと安心していませんか。しかし、ないとはいえないXデー。

さて阪神・淡路大震災以来、各地が見舞われた災害のなかで、「女性だから困ったこと」「女性が置かれている立場ならではの困難」がクローズアップされました。

一方、復興活動を元気に続けるのは、生活力を持ち地域とのつながりも強い女性たちだったという情報もあります。

大きな災害が起これば公的機関がなにもかもを担うことはできないでしょう。災害時に大切なことは「自助・共助・公助」ともいわれています。

自分のこととして、防災を考えてみませんか。



女性消防団員はひとり暮らしの高齢者の方への防火思想の普及啓発、幼年消防移動防火教室の実施、普通救命講習会の指導など幅広い活動を行っています。女性消防団員になって5年目。仕事と活動を両立しているすてきな女性です。(写真：青森市 一戸俊江さん)

「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え
世代を超え
時代を超え

人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森はここに「男女共同参画都市」を
宣言します。

平成8年10月22日 青森市

「地震・雷・火事・おやじ」ってというのは、恐いものの代名詞とか？「うちの親父は、怖くないよ。でも、ここ一番の時は頼りになるかも…」(10代・男性・進路に悩む高校生)

みんな違ってみんな良い!! だけど、お互いを認め、尊重するって、すごく難しい!! それって、本当は基本だよなぁ(10代・女性・迷える乙女)

我が家の災害対策は、トイレの水!! ペットボトルやお風呂のお湯は落とさず溜めてます。あれ? 飲み水の用意を忘れていたかも…。(40代・女性・飲み水が心配になった一人も)

アンジュールの私の言の葉

1月の「市民活動企画展」に行ってきました。カダールが開館して8年。カダールを中心に市民の輪が広がってきているのね♥(50代・女性・学び・行動し続ける主婦)

死んだ父が「もし、地震が来たら、どこにいても、蔵に歩いて集合」と言っていた。蔵には、乾パン・玄米・塩・梅干・コンロやろうそくなど、戦争を体験した人の知恵が詰まっていたように思う。さて、父と同じ年になった私の地震の備えは、なんともお粗末である。(60代・男性・ノーマンな中年? 男)

子どもが、幼稚園や学校に行っている時に地震があったら：仕事先からどうやって迎えに行こう? 市外の仕事先から帰れるだろうか? 車社会で、一日飛び回る私は、不安になった。(30代・女性・方向音痴な母)